

障がい学生 支援ガイド



琉球大学

障がい学生支援室

University of the Ryukyus Office
for Supporting Students with Disabilities

[令和3年3月発行:4版]

高校までとは違う大学生活について

高校までは時間割が決められ、ほとんどの授業を自身の教室内で受けますが、大学では所属する学部・学科が定める卒業要件を満たす授業を自ら選択し、授業が行われる教室へ移動することとなります。

また、一人暮らしをする学生が増えることから、慣れない環境に戸惑う学生もいます。特に大学1年生では、今まで出来ていたことができなくなったことに悩む学生が多くいます。

どのようなことに困っていますか？

先生の話を聞くことと板書を書くことを同時に行うのが難しい・・・

授業のスピードについていけない・・・

書くスピードが遅いため、試験時間を延ばしてほしい・・・

先生の話が聞こえにくい・・・

坂が多くて移動が大変。

教室の座席を、ドアに近いところにしてほしい・・・

レポートの書き方がわからない・・・

まずは相談！

大学生活で困っていることや不安に思っていることがあれば、障がい学生支援室や教員、学部の窓口担当者など・・まずは相談してください！

琉球大学では、障がいや病気が理由となり修学・大学生活への困り感や不安を抱えている学生を障害者差別解消法（※1）に基づき支援いたします（合理的配慮 ※2）。

障害者差別解消法^{〔※1〕}とは

障害者差別解消法って？



平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(以下、「障害者差別解消法」)が施行されました。

この法律では、障害を理由とする差別の解消を推進し、障害の有無によって分け隔てられることのない社会の実現を目標としています。

大学生活を送る上で抱える困難さは、人それぞれ違います。そのため、学生一人ひとりと対話しながら、困難さを少しでも解消できるようお手伝いをいたします。

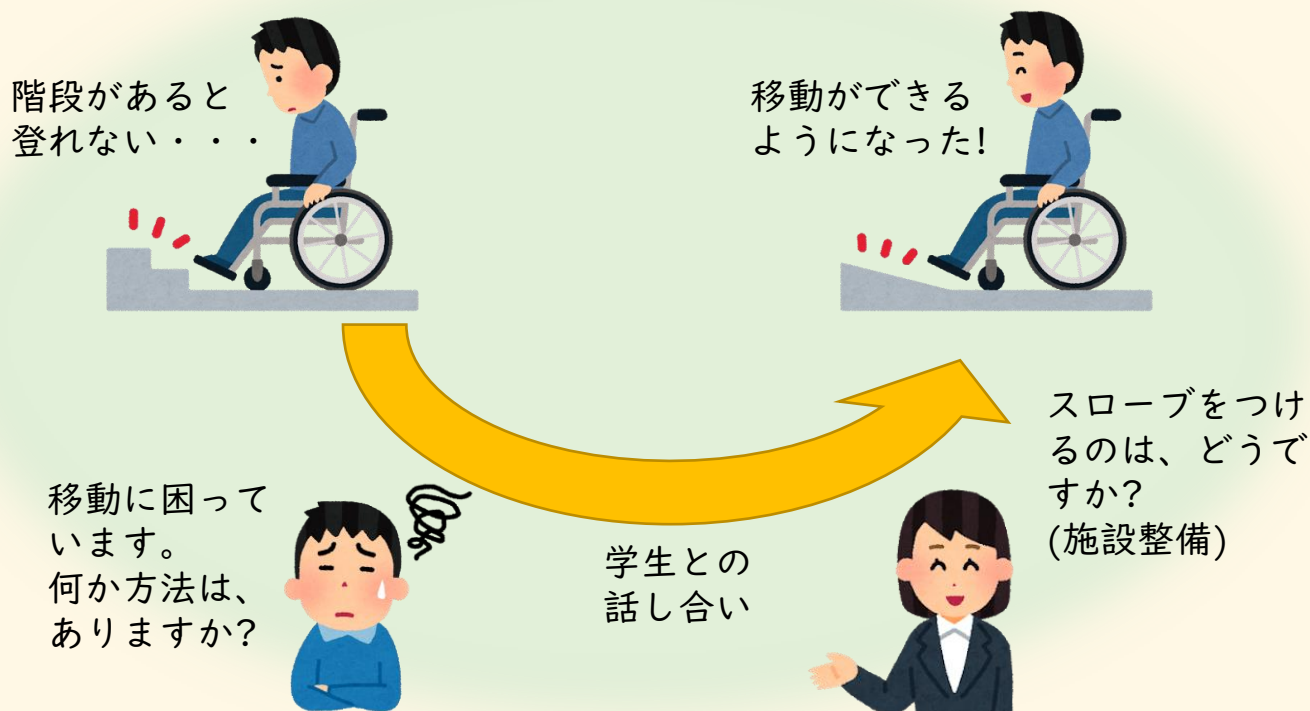


「合理的配慮^[※2]」とは

合理的配慮とは、「障害者差別解消法」^[※1]に基づいて、障害や病気がある場合においても、平等に教育を受ける権利を享有するために、大学側が障害があることによって生じる困難さを解消するために変更や調整をすることです。

ただし、体制面、財政面において均衡を失した又は過度の負担を課さないものとなります。

- | | | |
|---------|--------|---------|
| ① 機会の確保 | ② 情報公開 | ③ 決定過程 |
| ④ 教育方法等 | ⑤ 支援体制 | ⑥ 施設・整備 |



本学での合理的配慮の例

障がいや病気の種別が同じであっても、学生一人ひとりによって、抱える困難さは違うため、配慮内容は異なる場合があります。

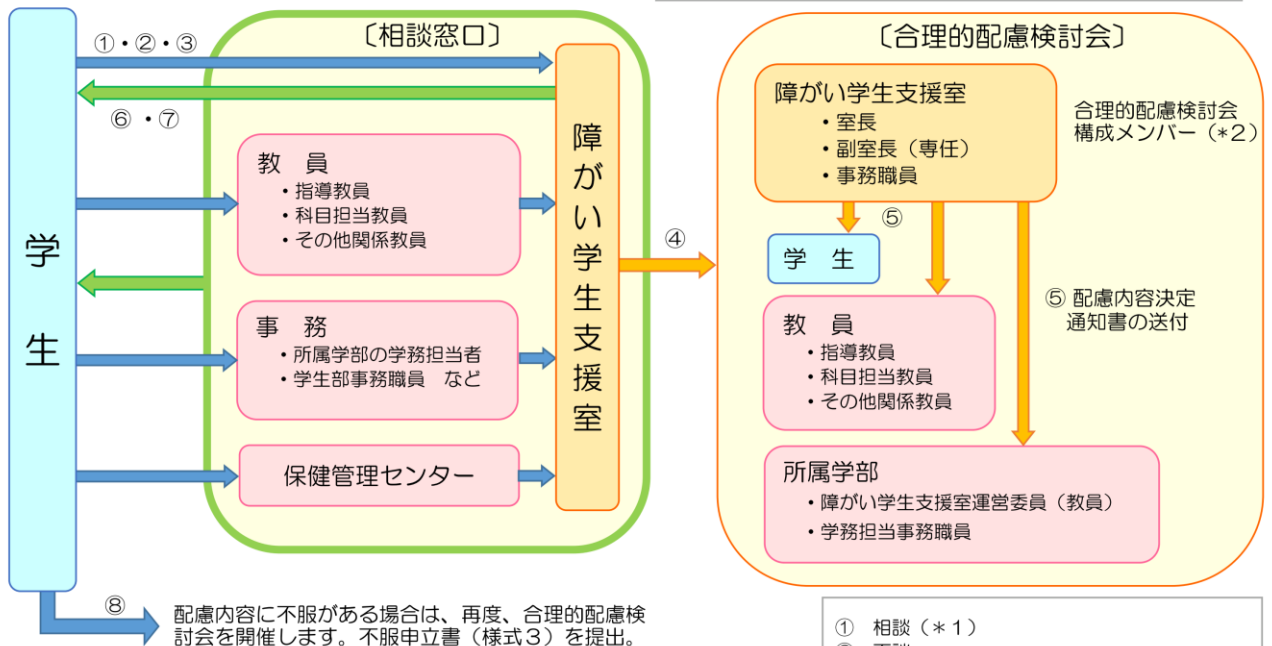
<例えば・・・>

- ・ 試験時間の延長、別室試験
- ・ 座席の配置を指定する(ドア付近の配置等)
- ・ 授業の発表への配慮 ・ 授業の録音、板書の撮影
- ・ 履修支援(時間割りの作成等)
- ・ 学外実習等でのサポート(介助者の派遣等)

相談から合理的配慮提供までの流れ

<相談から合理的配慮提供までの流れ>

相談 → 、支援 → 、検討会等（支援室内調整） →



*1・・・「①相談」や「③合理的配慮申請書の提出」は、学生が所属する学部の支援窓口等に提出することも可能です。
（窓口担当者一覧は、支援室HP又は「障がい学生支援室の運営等に関する要項」に記載されています。）

*2・・・支援内容により、構成メンバーは変更する場合があります。

※学生の他、教職員からの相談も受け付けております。

- ① 相談（*1）
- ② 面談
- ③ 「合理的配慮申請書」（様式2）の提出
- ④ 合理的配慮検討会の実施
- ⑤ 配慮内容決定通知書の送付
- ⑥ 支援の提供
- ⑦ 定期的な面談の実施（学生へのフォロー）
- ⑧ 不服申立て（様式3）

具体的な合理的配慮内容の提供については、障がい学生支援室にて一緒に考えてきます。

相談の窓口

障がい学生支援室や教員、学部事務の窓口、保健管理センターで相談を受け付けています。

<修学面>

- ・授業を受けてもスピードについていけない
- ・レポートの書き方がわからない

<生活面>

- ・スケジュール管理ができない
- ・多目的トイレが使えない など

大学生活で困っていることや不安に思っていることがあれば、まずはお気軽にご相談ください！

支援をしたい場合(ボランティア等)

障がい学生支援室では、障がいのある学生の修学支援等をするボランティアを随時募集しています。

<活動の一例>

- ・ 肢体不自由の学生や視覚障がいの学生に対する移動補助
- ・ バリアフリーマップの作成
- ・ 聴覚障がいの学生へのノートテイク、パソコンテイク (情報保障)
- ・ レポート課題へのアドバイス
- ・ 提出期限やテスト範囲の確認 などなど



また、ボランティア活動を行うにあたり、基礎的な知識を習得することができる オンラインアクセシビリティ講座^{※3}が無料で受講可能です。支援に関して自信がない…という方でも、お気軽にお問い合わせください。



スマートフォンでも受講ができる！

オンラインアクセシビリティ講座^{※3}って？

琉球大学では、アクセシビリティリーダー育成協議会のプログラムを活用し、オンライン講座(ALオンライン講座)の受講を推進しています。

この講座は、障がいの有無や年齢、社会背景の違いなどの多様性を理解し、それぞれの可能性を生かせる社会を構築する人材の育成を目的としています。

少子高齢化やインクルーシブ教育、グローバル化など多様なニーズへの対応が求められる社会において必要になる知識を学ぶことができる講座となっています。



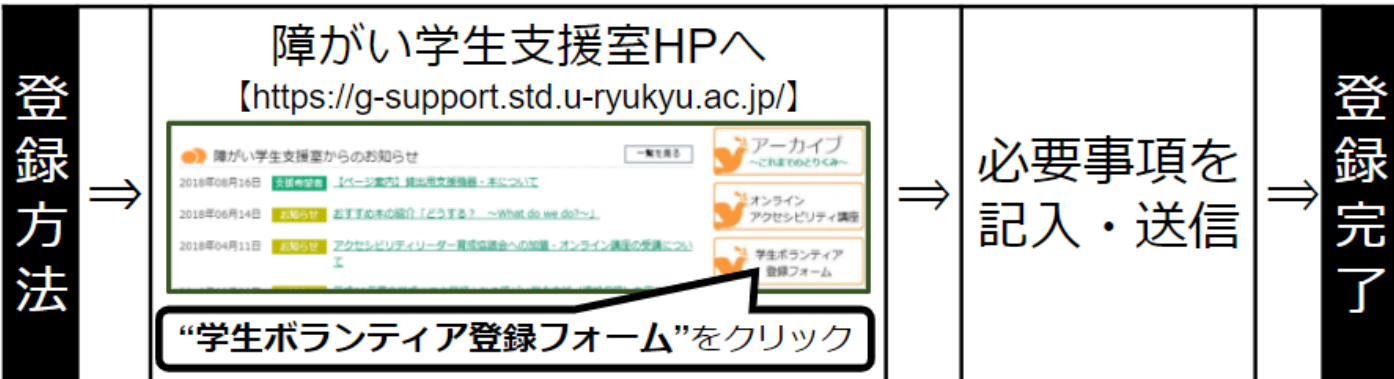
詳しく知りたい方向けに
スライドを公開しています！

→



ボランティア学生への登録方法

■障がい学生支援室ホームページにてボランティア学生登録フォームを設けています。各種ボランティア募集情報や役立つ講座・講習会の情報発信を行っていますので是非ご登録下さい。



参考資料

- ・日本学生支援機構
「教職員のための障害学生修学支援ガイド(平成26年度改訂版)」
https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/guide_kyouzai/guide/index.html
- ・文部科学省
「障がいのある学生の修学支援に関する検討会報(第一次まとめ)」
https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/12/1329295.htm
- 「障がいのある学生の修学支援に関する検討会報(第二次まとめ)」
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/074/gaiyou/1384405.htm



<沖縄県>

- ・沖縄県バリアフリーマップ
<http://okinawa-bf-map.jp/>

 沖縄県バリアフリーマップ



- ・沖縄聴覚障害者情報センター
<http://www.otjc.org/>

- ・沖縄県身体障害者福祉協会
<http://www.okisin.jp/index.html>

- ・沖縄県発達障がい者支援センター(がじゅま〜る)
<http://www.okinawa-gajyumar.jp/>

- ・沖縄障害者職業センター(就職関係)
<http://www.jeed.or.jp/location/chiiki/okinawa/>

<全国>

- ・日本学生支援機構(障害学生支援)
http://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/index.html

- ・日本学生支援機構(障害学生奨学金等の情報)
http://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/shogakukin/index.htm

- ・全国障害学生支援センター
<http://www.nscsd.jp/>

- ・日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan)
<http://www.pepnet-j.org>

- ・クローバーナビ(障がい者のための就職情報サイト)
<http://www.clover-navi.com/>

- ・サーナ(障がい者のための就職情報サイト)
<https://www.web-sana.com/>

関係資料

<千原キャンパス マップ>

障がい学生支援室
全保連ステーション
(大学会館)2階

開室時間
平日(月~金)
9:30~17:00



お問い合わせ先

〒903-0213
沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
全保連ステーション(大学会館)2階
TEL:098-895-8750 FAX:098-895-8791
E-mail: g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp
HP: <http://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/>

ホームページ



お問い合わせ
フォーム

